

藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会

第8回 藤沢駅南北まちづくり市民検討部会《概要版》

日時：2011年9月22日（木）午前10時00分～

場所：藤沢市役所 新館4階会議室

1. 開 会
2. 部会長挨拶
3. 藤沢駅南北街づくり協議会からの提言
4. 議 事
(1) にぎわい・交流のまちづくりについて
5. そ の 他
6. 閉 会

4. 議事概要

<資料説明>

- A 委員 遊行通りは元々遊行寺は踊り念仏の本山であり、その踊りと音楽をかけて盆踊り大会を始めたので、同様に歴史と音楽をつけることもできるのではないかと。
- B 委員 遊行寺とは距離もあり、古いテーマパークのイメージではなく、新しい要素を入れて活性化していく必要がある。
- 事務局 音楽は、方向性を表すキーワードとしてはよいのではないかと。
- 部会長 10ページの図の駅の左側の矢印は何か。
- 事務局 市では西口開設の議会請願の採択を受けJRに西口開設の要望をしているため矢印を記述しているが、現場状況はなかなか難しい状況である。
- B 委員 歩行者だけでなく自転車を考えるのであれば、自転車についてもネットワークで考えないといけない。サイクルステーションを通りごとに設け、かつ回遊するための自転車ルート、受け入れる空間を考える必要がある。
- C 委員 アンケート回答で、北口通りの「横丁」とはどういうイメージか。

- A 委員 人だけが通れるエリア・横丁を作りたい。八戸の横丁のような存在は大変面白く、また中野のブロードウェイ的な店が集まるのが理想である。
- B 委員 北口通り線は車が主体となる通りになると、にぎわい形成は難しく、産業拠点施設や商業施設を整備する際には戦略がないといけない。
- C 委員 産業拠点施設は、遊行通りから入ってこられるような、また1階部分には商業施設が入るような作り方にはしたい。ただ、遊行通り側の地権者の問題があり難しい。
- 部会長 藤沢の居住者ではない私からすると、駅を降りてデッキの先に何があるかがわからない。デッキがあのままだと、北口通りが市のメインの通りという認識は持てないと思う。
- B 委員 駅に降りて銀座通りが認識できず、また銀座通りの手前の歩行者専用のスペース（パール銀座）が非常に中途半端であり、ここも整理する必要があるのではないか。
- 部会長 駅と街がスムーズにつながる状況を作らないといけない。
- B 委員 北口デッキはいじる可能性はあるのか。個人的にはあれをどうにかしないとどうにもならないと思う。
- 事務局 北口デッキは再開発により隣接建物との一帯整備の部分もあり荷重も大きく、当面は表層とエスカレーター程度しかいじれないと思う。
- 部会長 時期は未定としても、将来的にめざす絵姿は出しておくべきだと思う。
- 部会長 11ページの公共施設配置に関するコメントで、東日本大震災を踏まえた記述はもっともだが、本格的な防災センター機能を考えると周囲にしっかりスペースのあるゆとりのある庁舎が求められ、これを強調すると「現市庁舎の場所で建て替え、街とリンクしていく」という話と繋がるのかはあやしい。
- 事務局 確かに悩ましいが、一方で災害・緊急時等を見据えると市役所はどのような機能とでも複合しても構わないという話ではないことを主張しておきたい。
- D 委員 市役所の候補地のうち、現・市民会館の所は土地が低い。
- C 委員 市役所の持つ危機管理機能を考えると、高台の現・市庁舎の方がふさわしいといことか。
- B 委員 ユニバーサルデザイン面から、駅に隣接しているアクセス性の高さという点も重要。市役所の機能自体も、単なる行政の執務空間というだけではない、新しい市庁舎像、開かれた市庁舎というもののイメージもあった方がよい。
- また、公共施設はまちの活性化の上で非常に大事な役割を果たすからも、単純に市庁舎の立地の是非というのではなく、市庁舎が駅から近いことが中心市街地の活性化に繋がるという視点も必要である。

- 部会長 まちの活力の維持という意味で、公共施設の役割はこう重要だということを1項目設けて追加した方が良い。
- C 委員 人がゆっくりできる場所が都心部には必要で、それが市役所の中にある、それがこれからの市役所の姿・シティホールではないか。
- B 委員 庁舎建設については、最近では立川市のように市民とともにあり方を考えている。
- E 委員 候補地として、鉄道だけではなくバス、タクシーも便利という点も重要だと思う。
- 部会長 公共施設がある程度一団としてあることが、まちの活力として有効な役割を果たしていることも使える。
- 「広域に対して応接機能の役割」は少し唐突な書き方だが、1つには13地区への分権と併せて市庁舎に残される行政のコアの部分も含め行政を市民が支える割合が極めて高くなり、市庁舎は単に応接という意味だけではなく、市民がより濃密にコンタクトする場所としてあるべきであろう。
- A 委員 今の議論で行くと、市民の利便性だけでは駅舎の中にでも市民窓口さえあればいい、では行政機能は別にここになくても良いとならないか。
- 地方経済では地方公務員の方の貢献度はすごく高く、商業発展に繋がるという意味でも、単に市民サービスという観点だけではなくて、昼間人口がまちを支えているという意識が必要である。
- B 委員 行政と市民とのパートナーシップのあり方として、これまでのワンウェイの行政サービスではなく、市民が主体的に係わる行政のあり方を考えたときに、庁舎のあり方もこれから変わってくるだろう。一方で従来型の行政サービスは、電子メディアや、駅での行政サービス窓口設置等を進める。それとは別に、これからの行政のあり方、庁舎のあり方を考えたときに、立地に意味がある、という議論も必要であろう。
- A 委員 市民活動拠点として市役所の立地はこうあって欲しい、と書いたらどうか。
- 部会長 共治、という概念について具体的に例示していく。少し古くなるが、掛川市役所などは市民活動がヘッドクォーターに直接話をするということのコンセプトのもと各セクションの前にスペースを確保していた。
- B 委員 立地の問題はあるが、庁舎としての理念はよい。
- 部会長 今回予定していた議事が終わらなかったため、次回、この資料を基に続きを開催したい。

以 上